

## 10. LC-908W-C60仕様

- ◆ 送液ポンプ：L-6050  
方式：二連プランジャー往復ポンプ  
最大吐出圧力：150Kgf/cm<sup>2</sup> (0.03~10mL/min)  
100Kgf/cm<sup>2</sup> (10.01~29.97mL/min)  
流量範囲：0.03~29.27mL/min  
圧カリミッター：上限、下限
- ◆ リサイクルシステム：電磁バルブ方式  
方式：手動  
オートリサイクル使用時は自動（オプション）
- ◆ 検出器：RI / UV 二台まで装備可能
- ◆ 試料注入バルブ：レオダイナ #7725i  
サンプルループ：3mL（標準）、6mL、12mL、16mL；（オプション）
- ◆ カラム：φ40以下のカラム2本（オプションにより増設可能）
- ◆ フラクションコレクタ JFC-21（リピートインジェクターを含む）  
入力表示：リモコン（テンキー入力バックライト付き液晶表示）
  - ・インジェクタ  
試料注入方式：電磁バルブ切り替えポンプ吸入方式  
試料注入量：0.1mL~50mL  
繰返回数：999回  
繰返間隔：999分
  - ・フラクションコレクタ  
モード：マニュアルモード、タイムモード、タイムプログラムモード  
フラクション数：最大21本  
ラック：5本ラック（500mL試薬瓶ダイレクトに分取可能）  
21本ラック（ロートにより分取瓶まで導入）
- ◆ 本体寸法：660(W)×675(H)×425(D)  
重量：70Kg 電源：AC100V MAX8A
- ◆ 溶媒瓶5L、溶媒架台付属

## 日常の操作方法

操作に先立って次のことを点検して下さい

- 1) 溶媒が十分であること (LC-908-C60では一回の分析で約1リットル必要です。)
- 2) カラムと溶媒が適合していること
- 3) 廃液溜めに余裕があること

### 操作方法

- 1) MAINスイッチを入れます。

ボトルコレクターのアーム部が原点位置で停止します。

- 2) RI POWER スwitchを入れます
- 3) UV POWER スwitchを入れます
- 4) PUMP POWER スwitchを入れます

2~4) はONであるなら  
左記の操作は省略できま

- 5) PUMPスイッチを押し送液します。

溶媒の継ぎ足した、装置をしばらく使用していない場合など吸入パイプに気泡かあると思われるのでPURGEをして下さい。CONTROL MODEつまみをPURGEにしてドレインバルブを開けPUMPスイッチを押し、気泡がなくなるまで2~3分程度送液して下さい。

- 6) サンプル吸入ラインの洗浄をします。

きれいなクロロホルムを用意しサンプルインレット側にセットします。サンプルアウト側のコックを開けシリンジで5ccぐらい吸い出し、コックを閉じます。ポンプのドレインバルブを開いたまま送液し電源パネルにあるINJECTのスイッチを押し30秒間ぐらいたった後スイッチを止めて下さい。その後、送液をストップしドレインバルブを閉じます。

- 7) ポンプの流速を確かめポンプをスタートして下さい。

- 8) 記録計の電源を入れます。

- 9) RIのパーjsスイッチを押します。(一分後自動停止)

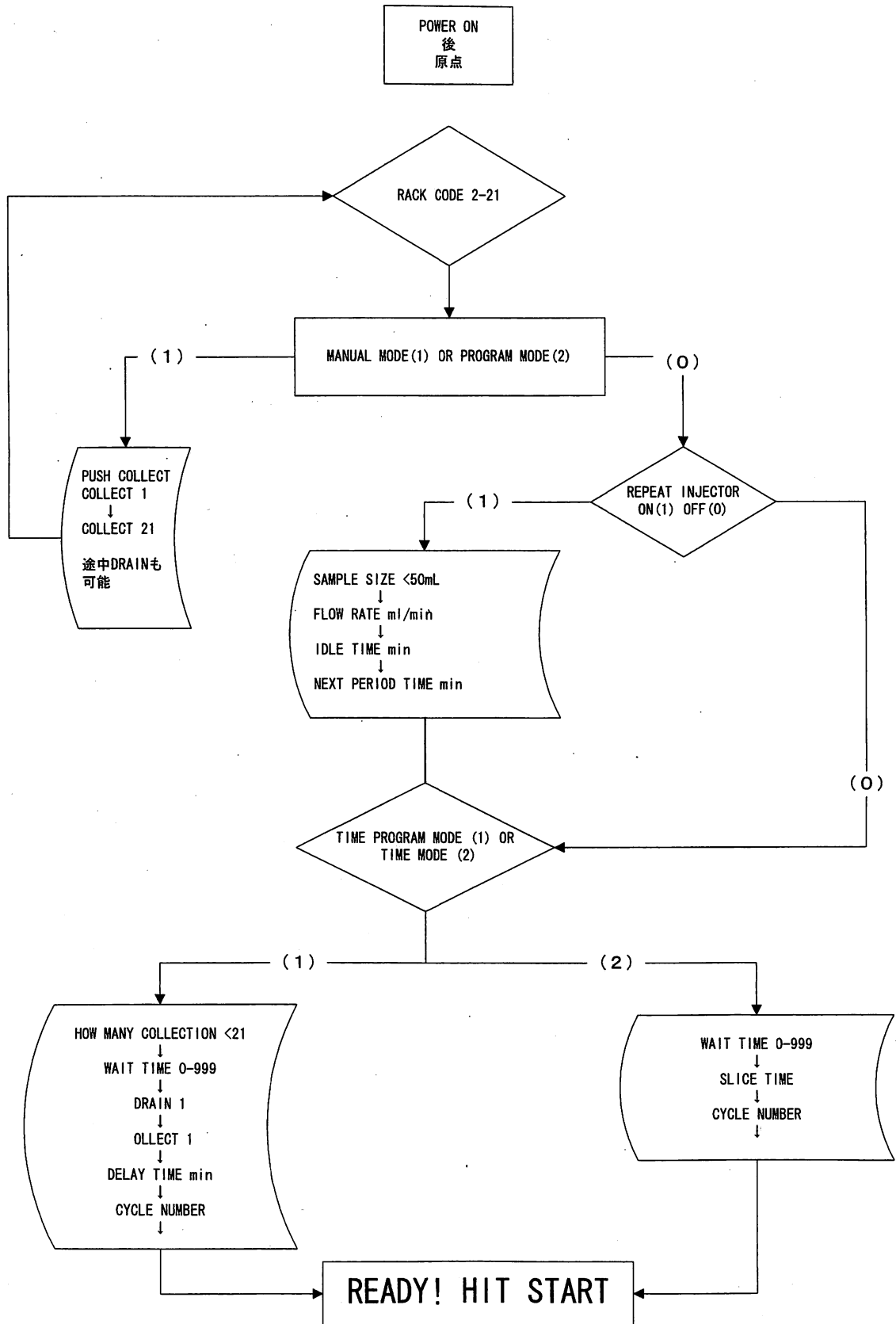
- 10) UVの感度を2ABS RIの感度を2000にセットし記録計のRANGEを各々100mVにしてモニターしベースラインの安定を待ちます。

- 11) カラムへ流しているのと同じの溶媒で試料を溶解し、ゴミ不純物を除去(メン

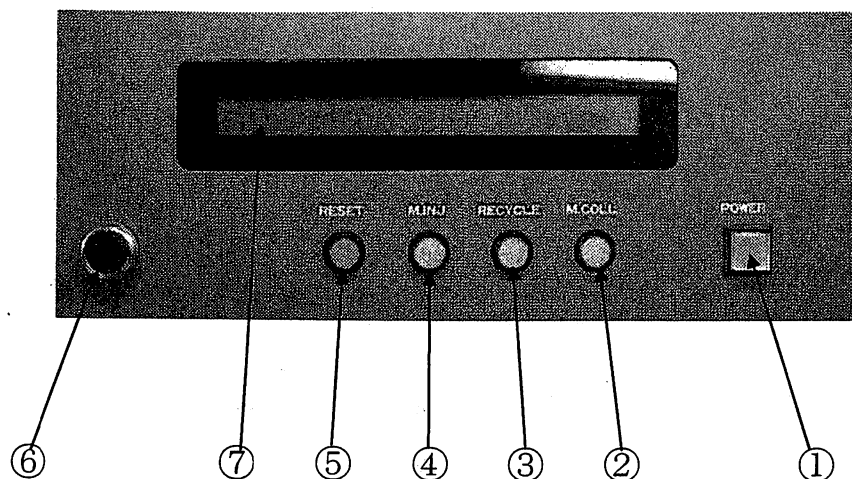
ブレンフィルタなど使用) して下さい。

12) オートで注入の場合は、キーボードから設定しサンプルをセットしスタートします。マニュアルで注入の場合は、シリンジでマニュアルサンプルインジェクタに注入して下さい。

LC-908W-C60プログラム流れ図



## 電源部詳細



### 1. POWERスイッチ

スイッチを押すことにより本体の全電源が入り、ボトルコレクターのアーム部が原点を捜し原点で止まります。

### 2. M.COLLスイッチ (MANUAL COLLECTIONの略)

スイッチを押すことにより優先的にいつでもCOLLECTすることができます。

### 3. RECYCLEスイッチ

スイッチを押すことによりソレノイドバルブが働き、リサイクル状態になります。

### 4. M.INJスイッチ (MANUAL INJECTORの略)

スイッチを押すことによりソレノイドバルブが働き試料を注入することができます。この場合ストップウォッチなどを使用し正しい試料量を注入して下さい。

### 5. RESETスイッチ

ボトルコレクターのCPUをリセットするスイッチです。

☆コマンド入力中数値を何も入力せず ENTER キーを押すと“AI”という表示がされます。この場合“0”を入力すれば復帰することができますが、復帰しない場合は、RESET キーにより立ち上げなおして下さい。

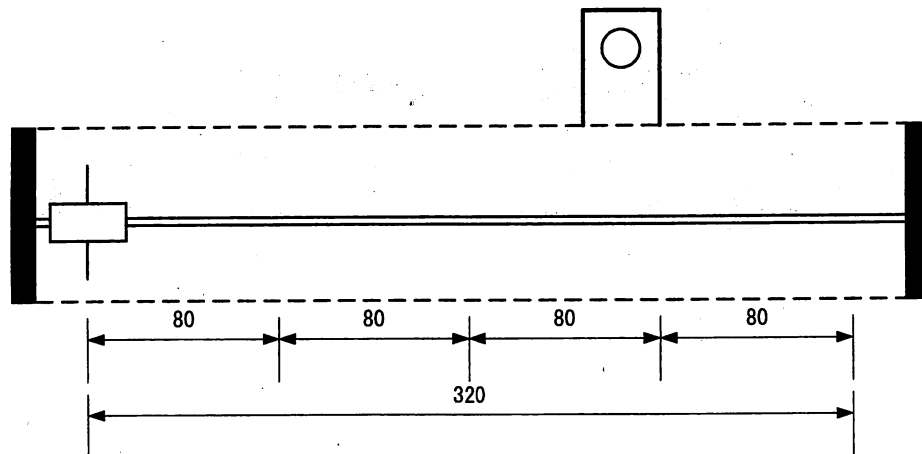
### 6. キーボード接続コネクタ

### 7. LCD表示ディスプレイ

## プログラムのコマンド説明

### RACK CODE

設定可能範囲 2~21



上図の様にフルスパン（320mm）を分割した値になります。

例えば：入力値 5

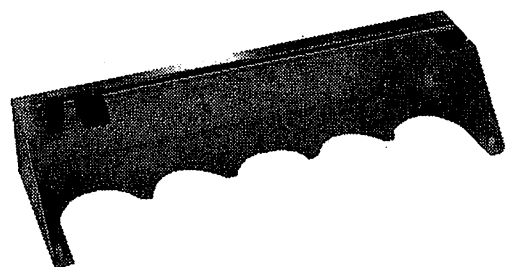
$320 \div 4 = 80$  80mmピッチで原点を入れて5ボトルのラックになります。

付属ラック：5

：21

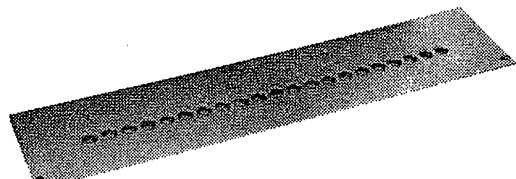
### RACK 5

入力可能値 2、3、5、



### RACK 21

入力可能値 3、6、11、21



### MANUAL MODE (1)

クロマトグラムを見ながら分取したい時、START/COLL.キーを押します。分取をストップしたい時、DRAINキーを押します。全て終わりの時は、HOMEキーを押して下さい。

### PROGRAM MODE(2)

プログラムモードは、TIME PROGRAM MODEとTIME MODEを、使用出来ます。後のコマンドにより選択して下さい。

### REPEAT INJECTOR ON(1) OFF(0)

REPEAT INJECTORを使用する場合は、(1) 使用しない場合は、(0) を入力して下さい。

動作原理は、ポンプの吸入力を使って試料を導入します。そのためあらかじめサンプルをセットする前に気泡を取り除く必要があります。

### SAMPLE SIZE < 50mL 設定可能範囲 0~50

試料の注入したい試料量を入力して下さい。

正確な注入は、なるべく 0.1mLの正数倍を入力して下さい。

### FLOW RATE mL/min 設定可能範囲 0.1~∞

ポンプの流速をそのまま入力して下さい。

### IDLE TIME min 設定可能範囲 0~∞

START/COLL.キーを押してからINJECTするまでの待ち時間です。

電源を立ち上げてからカラムが安定（溶媒が入れ替わる）迄の時間をあらかじめ入力しますと、INJECTと同時にUV (3702) ディテクターのオートゼロが入り（グラジエントポンプの場合スタートする）自動でサンプル注入から分取までできます。

☆プログラム実行HOMEキーによりリセットが可能

### NEXT PERIOD TIME min

全ての分取が終わり2回目のINEJCTが入るまでの時間を入力して下さい。

2回目以上のサイクルの場合IDLE TIMEは、働きません。

### TIME PROGRAM MODE (1)

このモードは、ドレインとコレクトを時間をベースに交互に行うモードです。一般的には、一度クロマトグラムを取り、クロマトグラム上でタイムテーブルを作り数値を入力します。

HOW MANY COLLECTION < (\*)      (\*) は最大ボトル数  
分取したいピークの数を入力します

WAIT TIME min                      設定可能範囲 0~999  
INJECTしてから1本目の分取しはじめたい所までの時間を入力します。  
☆ プログラム実行中HOMEキーによりリセットが可能

DRAIN 1 . . . . .  
WAIT 時間終了時より分取する前までに必要なDRAINの入力  
☆ プログラム実行中HOMEキーによりリセットが可能

COLLECT 1 . . . . .  
分取したいピークの時間を入力  
☆ プログラム実行中HOMEキーによりリセットが可能

DELAY TIME min  
LC908-C60はUVディテクターから分取ノズル先までが2.5mlです。そのため流速との兼ね合いにより入力して下さい。

$$2.5 \div \text{流速 mL} / \text{min} = \text{DELAY TIME}$$

CYCLE NUMBER  
繰り返ししたい回数を入力して下さい。

READY! HIT START  
☆ 表示中HOMEキーによりリセットが可能

START / COLL.キーを押してプログラムスタート。

TIME MODE (2)  
このモードは、一定時間間隔の分取を行うモードです。定流量状態においては、定量分取となります。

WAIT TIME 0-999 min                  設定可能範囲 0~999  
INJECTを起点に1本目の分取しはじめたい所までの時間を入力します。  
☆ プログラム実行中HOMEキーによりリセットが可能

SLICE TIME min                      設定可能範囲 0~999  
一定間隔分取の間隔時間を入力して下さい。



## CYCLE NUMBER

繰り返したい回数を入力して下さい。

## READY! HIT START

☆ 表示HOMEキーによりリセットが可能

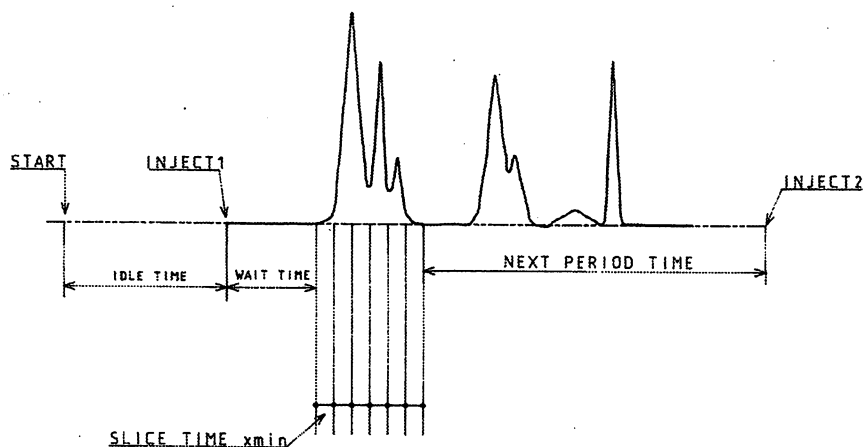
START/COLL.キーを押してプログラムスタートさせます。

## 各モードにおける分取例

### TIME MODE

RACK CODE 6(RACK 21 使用の場合)

SLICE TIME X min



### TIME PROGRAM MODE

HOW MANY COLLECTION = 3

